

ダイナム

RSN西村代表招いて勉強会

女性74人が依存問題対策ワークショップ

ダイナムは6日、静岡県伊東市にある同社研修所で、店舗に勤務する女性スタッフ74人を対象にキャンセル等依存問題対策ワークショップを開催。特別講師にNPO法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)の西村直之代表を招いて、依存問題に関する正しい知識を学んだ。

この研修は同社の女性(副店長12人、正社員47人、アルバイト15人)が参加した。キャンセル等依存問題

への対策はホール企業の責務と考えるダイナムは、これまでも依存問



RSNの西村代表

題に関するさまざまな勉強会を実施。今回は来店客と最も接する機会が多い女性スタッフを対象に行なった。

RSNの西村代表は「パチンコホールスタッフのためのパチンコ・パチスロ依存問題」と題して講演。キャンセルリング障がいや基礎知識や、パチンコ依存の予防と対策などを説明した。講演の中で西村代表は「依存問

題は決して特別なものではなく、日常の中にある問題。パチンコが原因で依存が起るといふ考え方は古い」としたうえで、「依存の背景には自己管理能力の欠落や、離婚・死別、家族との不仲などから起るさびしさなど、さまざまな問題が関係している」と依存問題の背景を解説。ホールができる対策として「長く楽しく遊んでもらうための手伝いや、問題に気づくきっかけづくりをすること」などを挙げた。

講演後、ダイナムスタッフは配属エリアごとに分かれてケーススタディとグループディスカッションを実施。「子育てに悩む女性」や「一人暮らしの老人」など、グループごとにそれぞれケースを想定して討論した。

グループディスカッションでは、スタッフが気をつけること、ホールとしてできること、スタッフができる声かけ、来店客に教えるべき情報の4つのカテゴリに分けて話し合い、自分たちができる対策案を出し合った。



ケース別に対策を話し合うダイナムスタッフ



推薦を受けた接客優秀者が集まった

ワークショップの最後は、グループごとに話し合ったのめり込み対策案を西村代表に発表。ダイナムスタッフが提案する対策案に西村代表も感心した様子だった。